

# C Channel

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 C Channel 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7691 URL https://corp.cchan.tv/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丹羽 歩 TEL 03 (6453) 6893  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,607	8.3	△44	—	△51	—	△50	—
2025年3月期第3四半期	1,484	△67.1	△66	—	△80	—	89	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △50百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 83百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△1.77	—
2025年3月期第3四半期	3.11	3.07

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	881	83	9.2
2025年3月期	888	136	14.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 80百万円 2025年3月期 131百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,286	14.8	49	—	40	—	37	△51.1	1.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	28,722,000株	2025年3月期	28,722,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	28,722,000株	2025年3月期3Q	28,722,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇の継続や地政学的リスク、米国の通商政策の影響などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境のもと、当社グループが所属しておりますインターネット広告市場は、前年比109.6%の3兆6,517億円（株式会社電通「2024年 日本の広告費」）となり、継続的に成長を続けております。

このような経営環境のもと、当社グループは「誰もが自分らしく輝ける機会を創る」というビジョンのもと「メディア事業」及び「海外事業」の2つの基幹事業の成長継続、収益構造の改善などに取り組んでまいりました。その中で、既存サービスに加え、企業とインフルエンサーを結びつける「Lemon Square」のサービス展開を拡大させることで、さらなる成長に注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は1,607,170千円（前年同期比8.3%増）、営業損失は44,259千円（前年同期は営業損失66,266千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は50,720千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益89,336千円）となりました。

なお、前年同期におきましては、連結子会社の全株式譲渡に伴い、関係会社株式売却益167,862千円を特別利益として計上しており、これが純利益の大幅な増加要因となっております。一方、当第3四半期におきましては、同様の特別利益の計上がなかったことから、営業損失が縮小したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上する結果となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は717,690千円で、前連結会計年度末に比べ14,323千円減少しております。主な変動要因は、売掛金109,833千円の減少、商品及び製品21,772千円の減少、現金及び預金111,550千円の増加などです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は163,543千円で、前連結会計年度末に比べ7,346千円増加しております。主な変動要因は、投資その他の資産のその他7,292千円の増加などです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は393,091千円で、前連結会計年度末に比べ139,632千円減少しております。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金227,123千円の減少、短期借入金94,415千円の増加などです。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は404,954千円で、前連結会計年度末に比べ185,965千円増加しております。主な変動要因は、長期借入金220,451千円の増加、社債40,500千円の減少などです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は83,187千円で、前連結会計年度末に比べ53,310千円減少しております。主な変動要因は、利益剰余金50,720千円の減少、新株予約権2,500千円の減少、為替換算調整勘定89千円の減少です。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、各連結会計年度において営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。

それに対し、当社グループは当該状況を解消すべく、以下に示す課題への対処を的確に行うことにより安定的な財務基盤を確立し、当該事象が早期に解消されるよう取り組んでまいります。これらの改善策を状況に応じて適切に推進していくことから、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

## ① 資金調達や資金繰りの安定化

当社グループは、当面の事業を継続するための資金繰りに支障はないと判断しております。引き続き効率的なコスト削減に取り組み、事業及び運転資金の安定的な確保のため、取引金融機関等との良好な関係を維持し、財政状態の健全化を図ってまいります。

## ② 基盤収益事業の強化による売上維持・拡大

『広告サービス』『インフルエンサーマーケティングサービス』において、売上高は安定的に推移しております。そのため、当社グループは、当該事業をさらに強化していくことで、安定した収益獲得を目指してまいります。

具体的には、当社グループは、これまで得意としてきた動画メディアからSNS並びにインフルエンサー等を活用した女性向けマーケティングに加え、クライアントの皆様にとってインフルエンサーマーケティングのソリューションとなる「Lemon Square」を中核事業に据え、新たな時代におけるトッププラットフォームを目指してまいります。

## ③ 積極的投資事業における選択と集中による事業の選別と早期収益化の実現

積極的投資事業については、当社グループとのシナジーが期待できない事業や収益化が困難と判断した事業については適時適切に処分することを検討してまいります。また、早期収益化の実現のため、当社グループの事業とシナジーのある他社と積極的に業務提携を締結すること等を通じて、事業の拡大を図ってまいります。

## ④ 経費の削減

当社グループは、当社グループ事業の強みを確保した上で、引き続き、外注費等の売上原価、販売費及び一般管理費の固定費などの削減に努め収益性の改善に注力してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,600	373,150
売掛金	318,096	208,263
商品及び製品	74,274	52,501
仕掛品	1,714	1,771
貯蔵品	34	19
その他	80,140	82,083
貸倒引当金	△3,846	△99
流動資産合計	732,013	717,690
固定資産		
有形固定資産	31,814	30,026
無形固定資産		
ソフトウェア	104,432	106,274
無形固定資産合計	104,432	106,274
投資その他の資産		
その他	39,419	46,711
貸倒引当金	△19,469	△19,469
投資その他の資産合計	19,949	27,242
固定資産合計	156,196	163,543
資産合計	888,210	881,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,574	55,209
短期借入金	—	94,415
1年内返済予定の長期借入金	312,676	85,553
1年内償還予定の社債	5,000	29,500
未払金	72,186	93,725
未払法人税等	903	2,317
その他	38,383	32,369
流動負債合計	532,723	393,091
固定負債		
長期借入金	127,324	347,775
社債	67,900	27,400
資産除去債務	18,527	18,611
繰延税金負債	5,237	4,919
その他	—	6,249
固定負債合計	218,988	404,954
負債合計	751,712	798,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,802,851	1,802,851
利益剰余金	△1,677,484	△1,728,204
株主資本合計	135,367	84,646
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,868	△3,958
その他の包括利益累計額合計	△3,868	△3,958
新株予約権	5,000	2,500
純資産合計	136,498	83,187
負債純資産合計	888,210	881,233

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,484,314	1,607,170
売上原価	704,761	800,125
売上総利益	779,552	807,045
販売費及び一般管理費	845,819	851,304
営業損失(△)	△66,266	△44,259
営業外収益		
受取利息	89	802
受取配当金	2	2
為替差益	—	3,837
業務受託料	200	—
その他	553	267
営業外収益合計	845	4,908
営業外費用		
支払利息	5,877	8,995
為替差損	2,757	—
支払手数料	2,890	1,652
その他	3,163	1,696
営業外費用合計	14,689	12,343
経常損失(△)	△80,110	△51,694
特別利益		
新株予約権戻入益	3,750	2,500
関係会社株式売却益	167,862	—
特別利益合計	171,612	2,500
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	91,501	△49,194
法人税、住民税及び事業税	2,475	1,844
法人税等調整額	△310	△318
法人税等合計	2,165	1,525
四半期純利益又は四半期純損失(△)	89,336	△50,720
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	89,336	△50,720

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	89,336	△50,720
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,140	△89
その他の包括利益合計	△6,140	△89
四半期包括利益	83,195	△50,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,195	△50,810

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	海外事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,053,187	431,126	1,484,314	—	1,484,314
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,053,187	431,126	1,484,314	—	1,484,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	27,023	27,023	△27,023	—
計	1,053,187	458,149	1,511,337	△27,023	1,484,314
セグメント利益又は損失 (△)	209,299	△9,728	199,570	△265,837	△66,266

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△265,837千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	海外事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,050,830	556,340	1,607,170	—	1,607,170
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,050,830	556,340	1,607,170	—	1,607,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	38,941	38,941	△38,941	—
計	1,050,830	595,281	1,646,112	△38,941	1,607,170
セグメント利益	211,182	1,883	213,065	△257,325	△44,259

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△257,325千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間における四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、当第3四半期連結累計期間にかかる減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	21,711千円	28,710千円

(重要な後発事象)

(第三者割当増資)

2026年2月3日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当増資による新株発行を実施することを決議しました。

第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	2026年3月6日	
(2) 発行新株式数	普通株式	2,356,600株
(3) 発行価額	1株につき	157円
(4) 発行価額の総額	369,986,200円	
(5) 資本組入額	資本金	184,993,100円
	資本準備金	184,993,100円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当の方法によります。	
(7) 割当先及び株式数	株式会社Rainmakers	1,401,200株
	Yatsen Beauty Japan株式会社	955,400株
(8) 資金使途	既存事業や新規事業への投資、借入金等の返済	

(資本金及び資本準備金の額の減少)

「資本金及び資本準備金の額の減少」につきましては、2026年2月3日発表の「資本金及び資本準備金の額の減少について」をご参照ください。